

海やまのあいだに生きる

3.11

3.11の

大震災を機に、時代は大きく変わろうとしています。何よりも東北の復興が焦眉の急であることはいまでもありません。そしてその復興の道筋は地球と世界の動向を見極め、その上でこの国の変革の道を目指すものでなければならないと考えます。

そういう観点からわれわれはNPO法人「アスクネイチャー・ジャパン」なる国際的なネットワークを立ち上げました。意味するところは「自然に学ぶ国作り」を志し、そのための根元的な道を模索するとともに実現への方途を探るというものであります。

ここにいう「自然に学ぶ(アスクネイチャー)」とは、一言にしていえば、天地万物に生命が宿っているという考え方(万物生命観)を思想と行動の規範にしようということであり、われわれの力はいまだ微力ではありますが、このたび東北復興のためのお役にすこしでもたてればと心から願い、東北復興シンポジウム「海やまのあいだに生きる」の企画を立案したさいであります。ご賛同ご協力いただければ、まことに幸せであります。

第3回 東北復興シンポジウム 「フクシマ」と共に

2012年 **3月3日** (土) 13:00~16:00

会場：福島県立博物館 講堂 (福島県会津若松市城東町 1-25)

主催：NPO 法人アスクネイチャー・ジャパン、福島県立博物館

海やまのあいだに生きる

第3回東北復興シンポジウム「フクシマ」と共に

日時 2012年3月3日(土) 13:00~16:00
会場 福島県立博物館 講堂(福島県会津若松市城東町1-25)

プログラム

- 12:30 開場
13:00 開会挨拶 仁連孝昭 NPO 法人アスクネイチャー・ジャパン理事長
13:10 基調講演 「フクシマ」と共に
山折哲雄 宗教学者
13:30 福島原発行動隊の道
山田恭暉 福島原発行動隊理事長
14:20 休憩
14:30 パネルディスカッション 「フクシマ」と共に
コーディネーター 赤坂憲雄 福島県立博物館館長、学習院大学教授
パネリスト 山折哲雄
山田恭暉
川勝平太 静岡県知事
安田喜憲 国際日本文化研究センター教授
15:50 閉会挨拶 河本英典 NPO 法人アスクネイチャー・ジャパン副理事長

参加費：無料／定員：200名

主催：NPO 法人アスクネイチャー・ジャパン、福島県立博物館

お問合せ・お申込み【事前要予約】2012年1月11日(水) 9:30より受付開始

福島県立博物館

TEL：0242-28-6000 FAX：0242-28-5986

電話・ファックスまたは館内受付カウンターにて、お名前・ご所属・お電話番号をお知らせください。

プロフィール

●山折哲雄

1931年サンフランシスコ生まれ。宗教学者。国立歴史民族博物館教授、国際日本文化研究センター所長などを歴任。『愛欲の精神史』『法然と親鸞』『絆 いま、生きるあなたへ』など著書多数。2010年南方熊楠賞受賞。

●赤坂憲雄

1953年東京都生まれ。福島県立博物館館長、遠野文化研究センター所長、学習院大学教授。民俗学をベースに東北の文化や歴史を掘り起こす「東北学」を提唱。『岡本太郎の見た日本』『東北知の脈脈』など著書多数。

●川勝平太

1948年京都生まれ。静岡県知事。早稲田大学大学院で日本経済史、オックスフォード大学大学院で英国経済史を修学。早稲田大学教授、国際日本文化研究センター教授、学校法人静岡文化芸術大学学長などを歴任。

●安田喜憲

1946年三重県生まれ。東北大学大学院理学研究科修士課程修了。1994年より国際日本文化研究センター教授。「環境考古学」提唱者。『環境考古学事始』『森のこころと文明』『森林の荒廃と文明の盛衰』など著書多数。

●山田恭暉

1939年東京都生まれ。一般社団法人福島原発行動隊理事長。東京大学工学部冶金学科卒業後、住友金属工業で技術者として30年勤務。退職後はボランティア活動を行う傍ら、超小型水力発電設備建設などにも携わる。

会場アクセス

福島県立博物館

福島県会津若松市城東町1-25 TEL：0242-28-6000
<http://www.general-museum.fks.ed.jp/>

●JR 会津若松駅より約3km

- 市内循環バス1コースにて県立病院前下車徒歩5分
- 鶴ヶ城経由飯盛山行きにて鶴ヶ城北口・県立博物館前下車徒歩1分
- まちなか周遊バス「ハイカラさん」にて鶴ヶ城三の丸口下車すぐ

●福島空港より約90km

- 空港リムジンバスにて郡山駅前まで40分
- 郡山駅よりJR磐越西線快速にて会津若松駅まで60分
- 空港発乗合タクシー(予約制)にて会津若松駅まで80分



NPO 法人アスクネイチャー・ジャパン <http://asknature.jp/>

自然・生命の知恵から学ぶものづくりとライフスタイル、そしてそれを実現するビジネスモデルづくりや教育普及事業を行っています。